

富山県地域包括ケア 現状と課題

約10年後(2025年)の
富山県の姿

1. 進行する高齢化
 - ・高齢化率: 27.9% (2013年3月) → 33.7% (2025年)
 - ・高齢者の7人に1人 (13.67%、約4万5千人) は一人暮らし
 - ・高齢者の6~7人に1人 (15%、約5万人) は認知症

2. 増加する国民負担
 - ・1号介護保険料(全国)
 - 約5,000円(2012~14年度) → 約8,200円(2025年度)

医療・介護

～これまでの取組み及び現状～

【在宅医療・介護 拠点づくり】

- (1) 在宅医療
 - ・在宅医療チームづくり支援(H21~24)
 - ・在宅医療支援センター運営支援(H22~)
- (2) 訪問看護
 - ・訪問看護普及啓発、人材研修(H22~)
 - ・訪問看護ステーション設備整備支援(H19~)

【在宅医療・介護 ネットワークづくり】

- ・多職種が顔の見える関係づくり(H21~)
- ・医療系ショートステイ病床確保(H22~)

【利用促進(県民普及啓発等)】

- ・在宅医療推進県民フォーラム(H24~)

1. 在宅医療
 - ・在宅医療実施診療所: 266 (㉑259)
 - ・開業医グループ: 15 (㉑9)
 - ※参加医師: 188人 (㉑67人)
 - ・在宅医療支援センター: 9 (㉑2)
 - ・在宅患者: 3,224人 (㉑2,825人)

2. 訪問看護
 - ・訪問看護ステーション: 48 (㉑36)
 - ・訪問看護師: 273人 (㉑226人)
 - ・訪問回数: 184,973回 (㉑138,094回)

～課題～

課題1: 24時間365日の在宅医療・介護提供体制の構築

課題2: 在宅医療・介護を支える職員の確保と資質向上

課題3: 医療と介護の連携促進

課題4: 県民への在宅医療の普及・啓発

介護予防・生活支援

～これまでの取組み及び現状～

【介護予防・社会参加】

- (1) 介護予防
 - ・【市町村】地域支援事業
 - ・介護予防推進対策事業
 - ・県民歩こう運動推進事業
- (2) 社会参加
 - ・シニア専門人材バンク設置事業
 - ・エイジレス社会づくり県民大会(H24・25)

【生活支援】

- ・ふれあいコミュニティ・ケアネット21
- ・孤立高齢者等支援特別プロジェクト
- ・老人クラブ訪問支援活動支援事業

1. 介護予防・社会参加
 - ・要支援1: 5,378人、要支援2: 6,106人
 - ・二次予防事業参加者: 40,590人
 - ・シニア専門人材バンク登録者: 764人(H26.3末)
 - ・老人クラブ会員: 174,727人(60歳以上の44.7%)
 - ・シニアサークル: 644(会員17,176人)

2. 生活支援
 - ・ケアネット活動: 231地区、2,874チーム
 - ・老人クラブ訪問支援: 活動員1,196人、訪問対象者3,467人
 - ・民生委員: 2,528人

～課題～

課題1: 効果的な介護予防の展開(要介護認定率の抑制)

課題2: 介護予防・生活支援の多様な担い手の確保・充実

課題3: 官民連携した地域体制づくりと地域資源の確保

課題4: 県民への介護予防・生活支援の普及・啓発

住まい

～これまでの取組み及び現状～

- ・介護あんしんアパート整備(H17~25)
- ・【国】サービス付高齢者向け住宅(H23~)
- ・高齢者が住みよい住宅改善支援事業

- ・サービス付高齢者向け住宅: 51施設、1,253戸
- ・有料老人ホーム: 52施設、1,202戸

～課題～

課題: 『住み慣れた地域』内での高齢者向け住まいの確保